

令和 4 年 度

精 華 高 等 学 校

第 1 4 回 学校評価結果報告書

I 学校経営計画

II 学校評価

(1) 教職員自己評価

(2) 保護者自己評価

III 学校協議会

IV 総合評価

V 資料

精華高等学校 学校評価委員会

I 学校経営計画

(1) 本校がめざす学校像 (Plan)

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、基本的生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の更なる充実を目指す。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

(2) 中期的目標【到達目標として】 (Do)

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 3 NS コース
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。
- 4 SA コース
高校生活の基本的生活習慣・考え方を身につけさせる。学習・部活動のともに頑張る生徒を育てる。各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。
- 5 i-Tech・IT 総合コース
基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。
さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を取得させ、コースとして達成率 80%以上を確保する。また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 6 環境福祉コース
高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。
- 7 SG・特進選抜コース
全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。特進選抜コース 2 年生は、大学進学を見据えた学習を行い、具体的には英検準 2 級全員合格を目標とする。特進選抜コース 3 年生は、全員が無遅刻無欠席で登校することをめざし、クラス全員の希望進路を確定させる。具体的には国公立および関関同立・4 女子大学合格者 4 名以上の実現をめざす。

8 スポーツ健康コース

集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。

9 特進総合コース

学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。

将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかり持たせ、教養を高めさせる。主体的に判断し、行動できる力を育む。

- 10 学校施設・設備の充実を図る。トイレの改装・洋式化に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を行う。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。SNS 等による情報発信にも取り組んで行く。
- 12 教育改革会議において、引き続き本校教育の中身を検討すると共に、近い将来立ち上げる予定のフリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の授業内容を確定し、認可を得る。

Ⅱ 学校評価

(1) 教職員自己評価 (Check)

《参考》①～⑩については過去 10 年間の結果です。

結果) 00.0%は令和 4 年度の調査結果です。

①2012 (H24) ②2013 (H25) ③2014 (H26) ④2015 (H27) ⑤2016 (H28)

⑥2017 (H29) ⑦2018 (H30) ⑧2019 (R 1) ⑨2020 (R 2) ⑩2021 (R 3)

* 調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値です。

■学校運営

◆私学の独自性

* 建学の精神 (教育目標) について

〔設問〕 建学の精神 (教育目標) が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 28.5%

推移) ①72% ②40% ③35% ④45% ⑤44% ⑥39% ⑦29% ⑧40% ⑨25% ⑩47%

* 愛校心について

〔設問〕 教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 23.8%

推移) ①65% ②43% ③35% ④43% ⑤32% ⑥34% ⑦21% ⑧30% ⑨25% ⑩37%

◆教育課程

* 学習指導要領の対応状況

〔設問〕 教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.4%

推移) ①84% ②78% ③93% ④90% ⑤87% ⑥89% ⑦91% ⑧83% ⑨89% ⑩87%

〔設問〕 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 88.1%

推移) ①72% ②40% ③35% ④45% ⑤44% ⑥39% ⑦29% ⑧40% ⑨86% ⑩80%

◆教職員連携

* 教員・教科間連携状況

〔設問〕 教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 64.3%

推移) ①77% ②52% ③33% ④48% ⑤47% ⑥39% ⑦35% ⑧53% ⑨61% ⑩57%

*** 教員と事務職員の連携状況**

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 61.9%

推移) ①58% ②59% ③42% ④50% ⑤42% ⑥42% ⑦50% ⑧47% ⑨68% ⑩57%

*** 会議の有効性**

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 28.5%

推移) ①58% ②39% ③33% ④23% ⑤29% ⑥26% ⑦23% ⑧17% ⑨36% ⑩20%

◆財務関係

*** 財務に関する意識**

〔設問〕 学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 14.3%

推移) ①49% ②46% ③26% ④18% ⑤13% ⑥16% ⑦15% ⑧20% ⑨14% ⑩10%

*** 評議員・理事会機能について**

〔設問〕 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 7.2%

推移) ①14% ②22% ③7% ④25% ⑤18% ⑥11% ⑦12% ⑧17% ⑨18% ⑩20%

◆情報公開

*** ホームページの活用状況**

〔設問〕 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 76.2%

推移) ①88% ②78% ③84% ④75% ⑤69% ⑥55% ⑦65% ⑧70% ⑨79% ⑩77%

*** 授業公開状況**

〔設問〕 保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42.8%

推移) ①58% ②39% ③33% ④23% ⑤29% ⑥26% ⑦23% ⑧17% ⑨46% ⑩37%

◆危機管理

*役割分担について

〔設問〕 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.4%

推移) ①84% ②83% ③72% ④80% ⑤80% ⑥68% ⑦62% ⑧70% ⑨68% ⑩77%

*危機管理対応状況

〔設問〕 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 66.7%

推移) ①84% ②63% ③61% ④61% ⑤62% ⑥53% ⑦65% ⑧53% ⑨64% ⑩67%

◆開かれた学校づくり

*地域交流について

〔設問〕 地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 33.3%

推移) ①56% ②57% ③44% ④52% ⑤49% ⑥61% ⑦59% ⑧60% ⑨64% ⑩47%

★学校運営に関する今後の改善方策 (Action)

建学の精神および教育目標を、教職員・生徒に浸透させる必要がある。また、教職員・生徒の愛校心は低い状況にあると、教職員は認識している。保護者評価においても「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見は約半数である。本校の社会的評価を上げるために、全般的に教育内容の充実が求められる。進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に高い。また、学校協議会においても地域の本校に対する評価は高く、期待されていることがわかる。

学習指導要領の対応状況は高評価である。シラバス作成は引き続き行うと共に、内容を充実させる。

教員・教科間連携を更に高める必要がある。教員間の信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。会議の有効性の肯定的評価が大変低い状態で推移している。喫緊の課題である。

財務関係および評議員・理事会機能については、情報の発信を工夫し教職員の啓発に努める。ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを推し進める。一斉メールの有効な活用により、学校の危機管理体制を更に強化して行く。地域交流については、積極的に行われている。本校は地元との結びつきは強い。

■教育内容

◆情報教育

*情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 54.8%

推移) ①72% ②44% ③40% ④39% ⑤42% ⑥32% ⑦35% ⑧47% ⑨57% ⑩37%

*情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42.9%

推移) ①67% ②37% ③44% ④39% ⑤36% ⑥58% ⑦24% ⑧47% ⑨57% ⑩37%

◆人権教育

*研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 31.0%

推移) ①49% ②54% ③41% ④37% ⑤30% ⑥22% ⑦37% ⑧30% ⑨29% ⑩33%

*教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 30.9%

推移) ①58% ②41% ③44% ④45% ⑤27% ⑥32% ⑦35% ⑧34% ⑨50% ⑩30%

◆環境教育

*環境問題意識の向上

〔設問〕ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 26.2%

推移) ①56% ②33% ③37% ④23% ⑤25% ⑥18% ⑦21% ⑧27% ⑨21% ⑩20%

*実践的態度の育成

〔設問〕生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また施設・設備を大切にする心を育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42.9%

推移) ①56% ②54% ③44% ④32% ⑤32% ⑥51% ⑦42% ⑧40% ⑨36% ⑩37%

◆健康・食育

*健康・食に関する指導について

〔設問〕健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 16.7%

推移) ①33% ②33% ③9% ④16% ⑤9% ⑥18% ⑦24% ⑧10% ⑨11% ⑩13%

◆生徒会活動

*生徒会支援状況

〔設問〕生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活用できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 50.0%

推移) ①67% ②35% ③19% ④22% ⑤36% ⑥29% ⑦65% ⑧50% ⑨46% ⑩57%

◆その他

*読書推進

〔設問〕図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.4%

推移) ①46% ②52% ③21% ④34% ⑤29% ⑥21% ⑦12% ⑧17% ⑨18% ⑩13%

*部活動

〔設問〕部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 71.4%

推移) ①61% ②65% ③44% ④52% ⑤51% ⑥53% ⑦53% ⑧70% ⑨82% ⑩87%

*ボランティア

〔設問〕ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.4%

推移) ①49% ②41% ③30% ④36% ⑤27% ⑥24% ⑦9% ⑧33% ⑨18% ⑩13%

*学校行事

〔設問〕体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 80.9%

推移) ①74% ②74% ③54% ④71% ⑤65% ⑥63% ⑦65% ⑧77% ⑨43% ⑩67%

＊スポーツ・芸術文化

〔設問〕スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 66.7%

推移) ①72% ②61% ③65% ④75% ⑤53% ⑥61% ⑦56% ⑧73% ⑨57% ⑩53%

＊国際理解

〔設問〕他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 14.3%

推移) ①14% ②9% ③14% ④36% ⑤18% ⑥24% ⑦9% ⑧27% ⑨11% ⑩10%

★教育内容に関する今後の改善方策（Action）

最新の設備を備えた E ルーム（ICT 教室）では、オンライン英会話をはじめ、新時代の授業が意欲的に行われている。全館 ITC 化に伴い、時代の要請である教育のデジタル化を推進し、授業の改革を鋭意進めている。令和 4 年度から始まった「新学習指導要領」に合わせて、新コース（5 コース）を立ち上げ、カリキュラムを一新した。生徒一人一台のタブレットを持たせ、「主体的な学び」を積極的に推進するとともに、情報化社会における様々な情報活用能力を養って行く。

時代状況に鑑み、全校的に情報教育を充実させて行く。携帯電話の校内持ち込みに伴い、携帯のマナー教育、また、急速な情報化社会の進展に伴い、情報モラル教育を強化する。

人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレの全館リニューアル（洋式化）に伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食育については、大きな課題である。食堂の改革を行う。

生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げを更に図っていく。学園祭等において、生徒の自主性も育ってきている。生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。図書へのデジタル化に取り組む。部活動の活性化は本校の重要な柱と位置づけている。吹奏楽部を特別強化クラブとし、強化クラブとして硬式野球・サッカー・卓球・剣道・演劇・女子バスケットボール部を指定している。学園として、部活動を支援する体制が整って来ている。中期的目標として、部活動・文化活動の盛んな精華高校をめざす。

■生徒指導・支援

◆生徒指導

＊指導方針の一貫性

〔設問〕生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.4%

推移) ①93% ②78% ③81% ④78% ⑤76% ⑥68% ⑦68% ⑧77% ⑨61% ⑩87%

＊生活指導について

〔設問〕生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 69.1%

推移) ①88% ②70% ③72% ④82% ⑤71% ⑥74% ⑦68% ⑧73% ⑨64% ⑩83%

＊家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 80.9%

推移) ①93% ②91% ③84% ④82% ⑤87% ⑥89% ⑦82% ⑧80% ⑨79% ⑩93%

◆生徒支援

＊学習指導

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 61.9%

推移) ①79% ②65% ③54% ④61% ⑤73% ⑥63% ⑦56% ⑧67% ⑨68% ⑩67%

＊カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。スクールカウンセラーの活用ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 66.7%

推移) ①86% ②63% ③58% ④64% ⑤65% ⑥71% ⑦79% ⑧87% ⑨64% ⑩77%

＊進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路、選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 57.1%

推移) ①72% ②61% ③75% ④77% ⑤60% ⑥58% ⑦56% ⑧70% ⑨71% ⑩80%

★生徒指導・支援に関する今後の改善方策（Action）

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から理解され、評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、進路の情報発信においては保護者の要望が強い。充実した進路情報の発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。しかし、保護者の評価は高くない。更に工夫された、わかりやすい学習指導を行いたい。

■教員研修・資質向上

◆教員研修

*教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 23.8%

推移) ①47% ②58% ③61% ④42% ⑤50% ⑥42% ⑦45% ⑧41% ⑨32% ⑩20%

*校内研修

〔設問〕効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 35.8%

推移) ①75% ②63% ③51% ④64% ⑤38% ⑥42% ⑦47% ⑧30% ⑨29% ⑩33%

*初任者サポート状況

〔設問〕初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.5%

推移) ①58% ②44% ③42% ④43% ⑤45% ⑥37% ⑦24% ⑧23% ⑨39% ⑩30%

*校外研修

〔設問〕教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①51% ②33% ③35% ④32% ⑤42% ⑥39% ⑦44% ⑧23% ⑨32% ⑩37%

*研修成果の共有状況

〔設問〕研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 9.5%

推移) ①30% ②22% ③14% ④18% ⑤20% ⑥21% ⑦18% ⑧10% ⑨22% ⑩13%

★教員研修・資質向上に関する今後の改善方策 (Action)

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。抜本的に見直す必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

(2) 保護者自己評価 (Check)

1 調査目的

- ① 学校に対しての意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

令和5年2月13日に担任より各家庭に配布。2月21日を期日として回収終了。

調査は無記名。回収は568件。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

- | | |
|--------------|---------------|
| A よくあてはまる | B ややあてはまる |
| C あまりあてはまらない | D まったくあてはまらない |

3 結果報告

① アンケート結果

冊子P21に掲載させていただきます。

② 〔ご意見・ご要望〕

【 学校全般 】

- ◆担任のW先生は、一人一人個人の特性に合わせた指導をしてくださり、感謝しています。子どもが進路に迷った際にも、根気よく一緒に考えてくださいました。精華高校に入学させて良かったと思われるのは、W先生が担任だったからだというのが大きいと思います。
一つ悪い意見としては、修学旅行は移動距離が長く、色々な意味で無駄が多かったのではないかと思います。北海道なら北海道で満喫できれば良かったのではないかと思います。
- ◆小さい頃から人間力の低い我子です。もちろん自分に自信がないですし、無気力であっても仕方がないと思います。そんな子でも、安心して預けることができます。学校側も、そんな子に寄り添った教育内容を提示してくれていると感じています。
我子が心地よい高校生活を送れているのも、先生方のご指導のお陰だと感謝しています。これからも頼りない息子ですが、よろしくお願いします。
- ◆生物のオンライン授業を見学して思うこと。
黒板の字がなぐり書きのようで非常に読みづらく、前に立っているので、書いたあと少し横にずれて頂ければ生徒は書きやすくなると思います。どんどん消していくので、写すことに必死にならないといけないので、なかなか要点がつかみづらそうでした。
- ◆電話対応は、電話するたびに良くないと思います。特に先生方の電話対応は良くありません。会話をきちんとしてください。
- ◆サッカーは、週2回でも人工芝でさせてあげてください。J-GREEN 堺でもできます。やろうと思えば、授業のあと自転車で行けると思います。
- ◆先生方も忙しいかと思われるが、生徒が授業内容等質問に行った場合、本人が理解できるよう説明して頂きたい。
- ◆お世話になりありがとうございます。保護者用アンケートに「授業内容」や「授業の工夫をしている教員」を聞かれても正直分かりません。「分からない」の項目がないので、「ややそう思う」にしていますが、アンケートの精度としては微妙です。
食堂に行きたがらない理由が分からないのですが、利用しにくい何かがあるのでしょうか？（教室から遠い・価格が高いなど？）
- ◆いつもお世話になっております。
- ◆息子は精華高校に入学し、本来の明るさや頼もしさが開花されたように、充実した日々を過ごせているようです。ずっとやりたかった部活動では、賞を頂いたり、本人も自信がついたようです。息子は何より精華高校が大好き！といった様子です。毎日いろいろ話してくれます。精華高校に入学させるまでは正直不安なところもありましたが、何より先生方が生徒に近く（友だちという意味ではなく）、

寄り添って楽しく学校生活が送れるようにしてくださっているのかなという印象を持っています。厳しい面も私は共感しています。社会に出る前のけじめや大切なことを身を持って伝えてくださっています。厳しすぎると他から耳にしたこともあります、私はそうは思いません。当然のことです。精華高校がますます素晴らしい学校であることを願っております。先生方への感謝と、今後もこのようにしてもらいたいと思っています。

- ◆体育館をキレイに直して欲しい。
- ◆一年生の時に購入した辞書ですが、学校の授業で使用するので購入してくださいと説明を受けましたが、まったく使われておらず、使用しないのであれば購入する必要があったのでしょうか？もう少しそういう点で授業の仕方を考えて頂きたいです。使用するのであれば、きちんと授業で使って頂きたいです。
- ◆「資格取得に向けて熱心」とありますが、将来的に資格を取ってほしかったけれど、部活を最優先し、顧問から「そんなんやってる暇ない。時間がもったいない」と言われる。先生の熱心さが伝わらない。学校内の清掃について、子どもから聞きました。なぜ自分たちの生活している一部なのに、生徒は「教室だけ」であとの校舎内、トイレ、階段、廊下諸々を業者がやっているのですか。なぜ自分達の学校を自分達で生徒&先生全員で掃除しないんですか？幼稚園の子ども、小学生、中学生でも自分達の「学校」は自分達でやってました。業者に頼むのは、種々の専門的なことだけで良いのでは。
- ◆毎日楽しく学校生活を送れているみたいで、精華高校に入学できて良かったと思っています。ありがとうございます。2年生に進級できればうれしいですが、本人に頑張ってもらえないんですが、なんとか進級できるよう、どうかよろしくお願いします。
自転車通学なのですが、雨の時、自転車置き場から校舎に行くまでに、白線の白い粉が革靴に付いてとても汚くなります。何か対策をして頂けるとありがたいのですが。それに、カップを自転車置き場においていくので、校舎までぬれ放題になっています。カサを持っていけばいいだけなんですが、何か簡単な屋根とかがあると、「靴」と「濡れる」は解消されるような気がします、何か良い方法があるといいのですが。
- ◆いつもお世話になり、ありがとうございます。
授業内容に関しては、オンラインくらいしか見ておりませんので分かりませんので、空欄が多く申し訳ありません。ホームページは部活の結果が順位に関係なく報告されているので良いと思います。学校によっては、上位に入らないと報告されないところもあり、生徒さん達は頑張ったのになあと残念だなと思うことがあります。
- ◆配布物等、すべてが手元に届くというわけではないので、学校の情報を把握しきれない。
- ◆年々生徒の身だしなみ（頭髪・メイク）がゆるい感じがします。特に1年生、しっかり指導してください。
- ◆先生から、学校や生徒を侮辱する発言がある。本人に自覚はないのでしょうか。1回ではないので。陸上部の顧問の締め付けが改善されていないため、どんどん部員が辞めている。
グラウンドをメインで使っていない日も、なぜ陸上部が整地するのですか？顧問の面子？整地だけで部活が終わる日もあるそうです。子ども達は整備係ではありません。
- ◆EW でしか出来ない授業もあり、楽しく授業をしていると笑顔で話してくれる事もあり、精華高校を選んで良かったと思っています。もっともっと中学校に向けてアピールしてもいいコースだと思います。EW のコース内容や授業に関して、知らない中学の先生や塾が多いと思います。
HP がもう少し分かりやすいと助かります。時々、どこをクリックすれば思っているページを見られるのか…と、悩みながら見ております。
- ◆HP について。とてもキレイな画面で良いと思いますが、行事の確認などで開くと、なかなかすぐにたどり着けなくて…。ただ私の探し方が下手なのだと思いますが…。慣れない者でも分かりやすい様にしていただけたらとても助かります。
- ◆家から近くて良いのですが、学校に行くまでの通学路で、車と人が危ない箇所があるので、気をつけないといけないところです（小学校近くで立ってくれている人がいて、ありがたいです）。
高1ですが勉強が難しいようです（ニュースタANDARDコース）。私立で難しいので、テスト勉強に少しまいっています。もう少し優しくしていただければと思います。ありがとうございました。

- ◆学校に行ったときや電話したときなど、先生方の対応が良く、気持ちいいです。
1年の時も2年の担任の先生もいい先生で、生徒のことをちゃんと見てくれて考えてくれているので、この学校に通わせて良かったなと思います。ただ、髪型には厳しくて納得いかないこともありました。あきらかに染めているのはダメでいいですが、染めていないのに逆に黒染めしなければいけないのはおかしいと思いました。
- ◆食堂が使いやすかったり、制服の長袖白シャツが購入しやすければいいのにと思いました。
- ◆私学なのだから冷暖房完備の体育館にしてほしい。
食堂はもう少し広くしてあげてほしい。
室内での部活の部屋にエアコンをつけてほしい。
- ◆保健室が不衛生だと思います。物置化して、ゴミも散乱し、こんな汚い保健室を私立高校で見るとは思いませんでした。改善して頂きたいと思います。
- ◆正直偏差値40前後の学校で、ここまで校則や規律を守らせている学校は他にないと思うので、非常に良い学校へ入学できたと感謝しています。
また、クラブ活動に関しても、学校を上げて取り組まれており、素晴らしいことだと思います。欲を言えば、授業に関して、科目によって、分かりやすい・わかりにくいなどの意見を聞きますので、生徒の意見を具体的に吸い上げ、教員サイドで改善して頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ◆電話対応時に名前を名乗らない。何度か伝えているが、伝わっていない様子。
- ◆タブレットの件で、3年間で136,640円払い込みですが、最終的には頂ける形にして欲しいです。教科書等で荷物が多いいにもかかわらず、毎日使用しないタブレットを持参しなければならない。破損する可能性が高いのに、弁償もしないといけないうのは納得ができません。最初に言ったように、頂ける形であれば納得できます。または、使用しない時は、学校での保管の検討をお願いします。または、個人の携帯電話をお願いします。
- ◆いつも子どもがお世話になり、ありがとうございます。
高校生活では楽しいことや、たいへんなことがある中で、日々子どもが思いっきり学校生活に取り組んでいる姿に、先生方の励ましや見守りがあってのことだと思って、感謝しています。
その中でなのですが、子どもよりSAコース情報処理の授業についてですが、授業内容に関する各保護者からもクレームが多数寄せられているとのこと、授業内容の改善を希望します。
もう一点、部活動についてですが、顧問と指導者とのコミュニケーションの取り方に問題がある印象があります。指導者のみに任せるのではなく、顧問による部活動中の巡回、また、次に続く指導者の育成など。また、部活動におけるPDCAの取り組みを希望します。
P：目標 D：実行 C：反省点からのあらい出し A：改善
部活動を通し、身体、精神を強化して頂き、リーダーシップや行動力のある社会人になれるように、家庭においても子どもを見守っていきたくと考えています。すみません。よろしくお願いします。
- ◆学校への電話連絡（欠席等）が、保護者の仕事の都合上、朝のちょうど良い時間にできなかったり、学校からの電話に出られないなど困る時があります。前日や早朝などにメールアドレスに記入しても良いものか判断しかねます。電話以外の連絡にしまうと、生徒が勝手にサボり等してしまうのも理解できますが、他の方法が可能であれば周知して頂きたいのと、他のシステム導入なども検討して頂ければと思います。（手引きなど読んでも書いていませんでしたので…）
学校の終業時間直前に掛ってきたお電話に、1分後かけ直すと留守電になっていたりもありました。部活等で生徒が残っている場合などはつながるのでしょうか？遅い時間にこちらからかけることはよっぽど無いとありませんが、手引き等に電話連絡についての詳細（何時～何時まで等）記載して欲しいです。（何度も先生からの連絡に出られなかったりと心苦しいので…）
- ◆食堂のメニューを増やしてほしいと思います。（※多数ご意見あり）
- ◆いつもお世話になっています。アンケートの34番「社会における評判は良い」の質問の答えは、正直あまり良くないのかも知れませんが、私は精華高校の先生方のご指導によって、昔に比べたらとても落ち着いてきたと感じています。近所に住んでいますが、私は精華高校に入学できて、とてもありがたく思っています。これからも生徒達のために頑張って頂きたいと思っています。よろしくお願いします。

します。

- ◆とても満足しております。いつもありがとうございます。
- ◆事務室が閉まった後、学校に連絡したい時の連絡手段がなくて困りました。
- ◆校外研修などで、色々な経験をさせて頂き、視野や興味の幅が広がりました。また、英検を受ける際、資料を用意してくださったり、前日まで放課後に指導して頂き感謝しております。真面目に勉強に取り組む生徒には、熱心に指導して下さいます。
ただ、授業中、一部の生徒による先生に対する暴言には厳しく対処するべきだと思います。
- ◆学年全クラスで友人ができたり、話せるようもっと考えてもらいたい。3年間クラス替えがないのに、クラスばかりの友人が出来るだけでなく、学年で友人をもっと作ってもらいたいので。
- ◆資格等、取得できるものはどんどん取らせてもらえるとありがたいです。
- ◆給付型奨学金のこととか、推薦について色々教えて欲しいです。京セラドームでの体育祭は、とても楽しそうで、コロナ禍の中でも開催して頂けて本当に良かったです。ありがとうございます。
3年生には補習の授業をして欲しい。何か学校がお休みになる時は、課題を頂きたかった。今後何かあれば、④課題は提出 or 先生確認あり ⑤課題は自由にしたい子だけ、少し応用課題で提出なし & 先生確認なし みたいに出して欲しい。
高校に入ってから毎日楽しく通学しています。残り少しの学校生活を学業に励みながら、楽しい思い出を作ってやって頂けたらうれしいです。いつもありがとうございます。大学受験に向けて、習っていない教科を学校で教えて頂けないか。例えば、数Ⅰは習っているが、数ⅡBは何も習っていない。この時点で専攻教科にしにくくなってしまっている。数学を専攻したかったので困っている。
- ◆バスコースを増やしてほしい。(泉北付近は電車やバスが利用しやすいのに必要なのか…？阪和線が最寄り、バスがあれば良かった。南海バスも学校に間に合う時間帯がなく、雨でも自転車通学で頑張っています。)

【 生徒指導 】

- ◆携帯電話を没収されたとき、保護者が学校に取りに行くのは無理がある。本人に反省文でも書かせて返してください。保護者にはその連絡だけで良いと思います。
- ◆「学校としての評判」は分かりませんが、登下校時のマナーの良くない生徒さんはよく見かけます。
高校生にもなって、生徒が学校から注意されるレベルでは、「学校自体の評判」にも関わります。
- ◆校則をもう少し緩めてあげてほしいです。(携帯や頭髪など)
- ◆学校指定のコート類がなく、学校生活の手引きにも「生徒指導部が許可するもの」の詳細がないですが、上着を着て登下校させたい日があります。「精華の生徒があんな上着を着て登下校していた。はしたない！」と思われる服装であるのですか？社会に出る前の高校生活で着用が好ましくない服装であるのですか？ルールを守ることを教えるのであれば、何のためのルールかを一度見直して頂きたい。ルールを守るガマンをさせると思います。
- ◆冬のスクールコートについて、黒色や紺色などで華美でないもの、ウィンドブレーカー等の使用を可にしてもらいたい。他校の生徒さん達を見ても使用しているのに、精華高校の生徒は寒いときでもコートを着用せず、登下校時かわいそうに見えます。何が理由で学校で許可したものしか着用できないのはおかしいと思います。経済的な理由等も各家庭にはあると思うので、安価に購入できるウィンドブレーカーやダウンなどの着用ができるようになると思います。
一度検討して頂きたいです。(※多数ご意見あり)
- ◆男子のツブロックを認めてほしいです。夏とか清潔感があって、涼しそうで良いなあと思っていたら電話がかかってきました(笑)
- ◆スポーツ科の一部の生徒から嫌がらせがある。大きなトラブルになっていないが、まじめに取り組む生徒の邪魔はしないでほしい。こちらが注意したら、またやってきそうなので、先生が気付いたら注意して頂けたらと思う。
- ◆授業に対して問題のある生徒がいると聞きます。授業内容(実習内容)に関して意見や感想を述べる前に、文句というか、不満のようなことを言う。教室内の雰囲気も悪いときもある様で、子どもは

学校・授業は楽しくて好きだが、一部の生徒のことで雰囲気が悪くなるのが嫌だと言っています。この様な、授業に対して不平不満を言う生徒に対してどのような対応をしているのでしょうか？

- ◆登下校時、狭い道を自転車で併走している生徒が多く危ない。
- ◆授業中うるさい子が多いと聞き、もうすぐ1年ですがなかなか良くなれないと聞きます。環境の良い勉強のスペースを作って頂きたいです。
- ◆自転車通学時、制服着用はたいへん困難なので、体操服通学を認めて欲しい。靴も運動靴で。
- ◆髪型ですが、中学生でも最近はツーブロックが許可されています。髪が多いので、ツーブロックで抑えたい思いがあります。
- ◆冬場の防寒着（ジャンパー）は許可が必要と聞きましたが、許可がなぜ要るのでしょうか。この寒さの中、制服のみで正直身体が心配です。

【 進路指導 】

- ◆進路説明会は、私は2人目なので、大学入試の制度等、上の子の経験である程度は理解していますが、1人目の保護者はもう少し早目に知りたいと思うことも多いと思います。指定校（狙ってますが）も、行きたい大学（学部）が無いこともあり、他の学校へチャレンジするのか学校と要相談です…親世代にはなかった制度だったり、分からないことが多々ありました。部活動で進学する生徒さんが多いかも知れませんが、そうでない家庭はもっと情報が欲しいです。
- ◆担任が子どもの進路に対して情報不足で、質問しても明確な回答がない。

【 保護者評価に対する校長所見 】

たくさんの貴重なご意見・ご批判、本当にありがとうございました。

まず最初に、精華高校に対しまして多数の好意的なご意見を頂いておりますこと、感謝申し上げます。この5月より、コロナが5類指定されました。様々な社会活動・文化活動がコロナ前に戻りつつあります。本校も修学旅行や文化祭・体育祭を始め、さまざまな教育活動をしっかり行って参ります。

時代状況に合わせた教育内容の充実という観点から、全館 ICT 化の工事を完了致しました。コロナ禍の中でのオンライン授業につきましては、不十分な面が多々あったことは反省しております。現在1・2年生には、一人一台のタブレットを持たせ、新しい時代の教育を行っております。授業中のタブレット使用に関しましては、まだまだ不十分な面がありますので、今後充実させて参ります。

国の教育改革の方向性も、迷走致しましたがようやく明確になり、新テスト（共通テスト）が始まっています。本校でもこの動きにしっかりと対応すべく、準備を重ねて参りました。全ての生徒にスケジュール帳を持たせ、スケジュール管理の重要性を認識させると共に、高校時代の教育活動の記録を残して行くように指導しています。

保護者評価における設問「生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる」「生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている」「精華高校に入学させてよかった」の項目について、多くの保護者の方々に高い評価して頂いておりますことは、我々教職員にとりまして大変励みになります。ありがとうございます。また、高校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。精華高校の教育の充実を更に進めて参ります。

精華高校の社会における評価の低さにつきましては、特別強化クラブや強化クラブの指定により、部活動が大変活発になり、地域社会における評価は確実に上がって来ております。今後新コースの教育内容の充実や、進学実績の向上により社会評価の上昇をめざします。

生徒指導について

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々のご理解・共感を頂いておりますこと、感謝申し上げます。しかし、頭髪指導・校則等、厳しすぎるというご意見もありました。社会情勢に合わせた見直しは必要と、教員一同考えております。また、登下校時の自転車マナーにつきましては、外部からもマナー

の悪さを指摘されております。指導を重ねておりますが、もっと強化して行く必要があります。「いじめ」につきましては、教員一同「いじめは絶対に許さない」という方針の下にしっかりと対応して参ります。全校生徒を対象に「いじめに関するアンケート」を実施する予定です。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校の方にご連絡下さい。窓口を設けております。携帯電話につきましては、時代状況も考え「持ち込み可」にしております。情報リテラシーの向上と共に、マナー教育にしっかり取り組んで参ります。

学習指導について

教育活動の基本である授業について、一部わかりにくい授業やうるさい授業があるとのことご指摘は真摯に受け止め、教員の意識改革を始め、不断に改善を図って参ります。授業の年間計画・内容につきましては、シラバス（年間指導計画）をホームページ上で公開致しております。ぜひ、ご覧になって下さい。ただ、「わかりやすく充実した授業」「生徒が興味・関心を持って取り組める授業」につきましては、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っていますが、まだまだ課題が多いことは重く受け止めさせていただきます。「テストの得点だけではなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」の項目につきましては、高評価を頂いています。

進路指導について

進路に関する情報提供につきましては、進路指導部を中心にしっかりとした情報発信を更に心がけて参ります。保護者の皆様のご要望が強いことは、十分に認識致しております。本校は、生徒の多様な進路に応えられるように、きめ細かい進路指導体制を取っております。

学校環境・設備についてとその他項目

校舎の耐震化につきましては、建設会社2社に耐震調査を依頼し、本校は新耐震基準をクリアしていることを確認致しております。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちてくる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。校舎の外壁補修工事は全て終了致しました。施設設備の充実につきましては、校舎内壁の全面改修、また、生徒トイレの全館改修（洋式化）も済んでおります。

自転車置き場から校舎に至る通路につきましては、何らかに改善策が必要だと考えております。この夏、第一研修館に冷房を設置致しました。

生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂の改革を行います。また、学校からの情報発信につきましては、ホームページの充実を更に図ると共に、一斉メールにより緊急時は迅速に情報を発信して参ります。

また、SNS 等による学校の情報発信も、充実して参りました。

Ⅲ 学校協議会

令和 5 年度 学校協議会 議事録

令和 5 年 11 月 18 日（土）10：30～12：30

参加者 東陶器校区自治連合協議会会長
西陶器校区自治連合協議会会長
精華高等学校同窓会会長
精華高等学校保護者会会長

精華高等学校 学校長 副校長 教頭 事務長 参与
主幹 教務部長 生徒指導部長 進路指導部長

配付資料 令和 4 年度 学校評価結果報告書
令和 4 年度 学校経営計画および学校評価
保護者対象学校自己評価アンケート結果
令和 6 年度 学校案内

次 第 参加者紹介 校長挨拶 校内（授業）見学 校長現状報告 意見交換

1. 校長挨拶

今年は秋を飛び越して、夏から一気に冬模様です。しかも本日はあいにくの悪天候で、お足元の悪い中お越し頂きありがとうございます。

本日は i-Tech コースが専門学校との連携授業に出ています。また EW コースの一部がこども園での実習活動に参加しています。他コースも 1・2 年生は、探究授業で移動教室が多いですが、各コースの特色ある授業を見学してください。

2. 校内見学

3. 現状報告

校内見学時、普通授業を受けていたのが 3 年生です。来年度は全学年にタブレットが行き渡り、さらにそれぞれ特色ある授業を展開します。

本日も土曜日は、まさにサタデー探究の授業日です。内容も充実し、各コース本当にユニークな授業を展開しています。和太鼓、茶道、栄養学調理実習や ITC の最先端授業まで話題に事欠きません。

さて、コースの中でも部活動に特化した SA コースは、順調に成果を上げてきました。吹奏楽部は安定した結果を残せるようになり、関西大会クラスでは常連校の仲間入りを果たしています。

硬式野球部は春の大会ベスト 16 入りを果たし、夏の大会ではシード校として 4 回戦まで勝ち上がり活躍致しました。

演劇部もここ 10 年の間に、2 度の全国大会出場を決め、日々の公演会活動でも異彩を放っています。活動エリアも広く、全国津々浦々を訪ねています。

開設 2 年の SG コースでは、すでに 2 年生が英語検定準 2 級を手に入れ、2 級ペーパー合格までは果たしました。後はスピーチをクリアして完全 2 級取得も目の前に迫っています。これを弾みに、難関大学合格に繋げていきたいと思います。

創部 5 年目の女子ダンス部も自力を付け、全国大会出場を果たしました。加えて、地域でのイベント活動に協力するなど、知名度を上げています。

また今年度は、懸案であった生徒による「授業評価」も実施し、その結果を授業に反映させたいと思います。学校における「よい授業」は我々教員の永遠のテーマです。より良い学校の創造のために

「授業評価」を積極的に実施していきたいと思います。

最後に、毎年実施している「学校評価」の中の、「保護者の意見」への感謝をお伝えしたいと思います。本校では、80%を超える保護者の皆様から「面倒見の良い学校」、「生徒指導の行き届いた学校」、「生徒を大切に考えてくれる学校」など、理解と賛同を得られる学校として認知されています。数値の高さに加え、寄せられるコメントの数々に応援の言葉と感謝の言葉を頂きます。その1つ1つが教職員全員の励みになっている事は間違いありません。感謝致します。

4. 意見交換

◆西陶器校区自治連合協議会会長

校長先生、西陶器校区フェスタへの出席、ありがとうございました。

文化祭、本日の授業、いつ見てもこちらの生徒さんは楽しそうで、大変満足している様子が伝わってきます。私の孫も2年生に在学しているので、嬉しく思います。

ところで、昨年7月の交差点視察以降、精華高校と泉ヶ丘東中学校の通学路の拡張要請が棚上げ状態にされています。警察も役所も重い腰を上げてくれませんので、精華高校の方からも陳情の声を上げて頂きたいと思います。1年以上経過しているのに何の進展もないのは、子ども達の不幸です。拡幅と側溝整備は不可欠の両輪です。事故、ケガの未然防止のためによりしくお願いします。

◆東陶器校区自治連合協議会会長

授業の状態がよい。どの教室も大声で叱責するような授業は見受けられず、落ち着いている。校内美化も徹底されている。感心した。探究授業はとても楽しそうでした。

受験時にコース決定をするのは、受験生にとっては大きな負担になっているのでは。

IT機器を使いこなしている様子は感心するばかり。

ところで、バス停下り坂道での自転車マナーは気になる。数名の生徒さんなのだと思うが、ケガをしてからでは遅いと思う。安全講習をきちんとしてあげてほしい。青パトの巡回もしているが、悪意はないのだが、縦1列の途切れない自転車の車列が、狭い道では自動車の走行をさえぎる形になってしまい、何とかしてくれとクレームを受ける事もある。

◆精華高等学校同窓会会長

11月5日の同窓会総会、ありがとうございました。学校での開催で、とても良かったです。

一部廊下にゴミが落ちていたのが残念だった。校舎が綺麗なので、余計に気になりました。また、グラウンドの水はけが気になりました。校舎への通路が水浸しになって、孫の靴も真っ白になっていたのを思い出しました。何とかしてあげてください。

フリーアカデミーコースですか、不登校の子どもさん達への寄り添いはとても共感できます。

◆精華高等学校保護者会会長

学校に来ていても、懇談会や文化祭という行事以外、生徒さんと接する機会は少ないが、何がしか作業を共にすると気持ちいい。自分の意見を持ち、はっきり伝えられる子どもが多い事に感心した。昨年の文化祭より、今年は生徒の行動、協力、積極性が段違いに良くなっていた。今年はとても良かったです。

また、学校周辺でのマナーという、評価に直結するエリアでの行動も、他校に比べて気にならないレベルである。自宅が、別の私立高校の近くにあるのだが、コンビニの利用マナーや自転車乗車マナーは比べものにならないくらい良い。登下校マナーの差別化は完全にできていると私は思う。

良い点がいっぱいあるのに、中学校へのアピールが足りず、良いイメージが浸透していないのが残念だ。HPやSNSに頼らずに、生の声掛け、アピールが必要だと思う。もっと積極的に精華高校を売り込んでも良いのでは。

◆生徒指導部長

2学期の振り返りになりますが、秋になり寒さも増すと遅刻が増えてきます。理由は様々ですが、個々の対応はしっかり分けて行えています。

その他の指導においても、教室・校舎外での生（なま）の対応が生きていると思う。しかし、目の届かないところでは、地域の方にご迷惑や、不愉快な思いをさせていると自覚しています。現に毎日ほど、お叱りのお電話を頂きます。今後も校外指導の充実を図りたいと思います。頂いたご意見は、すぐに校内通知し、全職員で共有しています。得られた情報をもとに、ピンポイントの指導を実施していきます。

最近多いケースでは、悪ふざけからトラブルに発展したり、一方的力関係が構築されたりすることがあった。このような状況から、いじめの構図が芽生えたりする可能性もある。

◆進路部長

進路状況は、やはり進学中心になっています。就職希望者は20名程度にとどまります。

進学も大学が主流で、専門学校は横ばいです。そんな中、動物・医療系に大半が関心を持ち、流れていきます。いずれも年内受験で決着しています。合格という表現は使えないので、内定を頂いています。

受験スタイルは、圧倒的に総合型受験が多いです。

◆教務部長

全校生徒の成績を管理しています。昨年、欠点のボーダーを5点上げました。成績不良者が増加するかと心配しましたが、生徒は良く頑張ってくれています。

自分自身は、赴任15年目のミドル研修を受ける年に当たります。色々な先生方に授業を見て頂く中で、新発見の連続で、目からウロコ状態です。日々、教育の多様化を実感しながら研鑽を積んでいます。

◆主幹

管理職の先生方の新企画をサポートする立場にあります。学校と現場のジョイント的役割です。全館ICT化や今は2年生の修学旅行の運営に当たっています。そして、大きなところでは、来春開設するフリーアカデミーコース立ち上げの重責を担っています。今後ともよろしくお願いします。

◆精華高等学校同窓会会長

私の孫は、遅刻の常習だったのですが、その時親身に声掛けをして頂き、よほど頭に刻み込まれたのか、今では社会人として、自分の後輩に偉そうに遅刻の訓示や、声掛けをしているそうです。本当に貴重な経験をありがとうございました。

◆副校長

地域の皆様、日々ありがとうございます。近隣の皆さまの貴重な言葉を胸に今後とも精進して参りたいと思います。

さて、最近では働き方改革の流れの中で、先生方への接し方に悩んでいます。自分が若い頃は、これでもかという位仕事をしたのですが、今やそのような昔話をする事すら怪しい空気です。

今後もさらに地域に受け入れられる学校になるよう努力いたします。本日はお忙しい中、本当に貴重なお時間ありがとうございました。

以上 記録：参与

IV 総合評価

建学の精神（教育目標）を、学校関係者に浸透させる努力を重ねて行く。生徒の愛校心は低い状況にあると、教職員は認識している。また、保護者評価において「精華高校の社会における評判は良い」の肯定的評価は約半数である。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という評価は堅持したい。ただし、一部頭髪指導等、厳しすぎるという意見もあることに留意したい。髪型や校則等、少し緩めてもいいのではないかという意見も増えてきている。生徒・保護者の意見も参考にしながら、時代に合わせた柔軟な対応を取りたい。いじめについては、絶対に許さないという強い姿勢で臨む。いじめの兆候を早期に発見し、すばやく対応していく。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いため、更に情報発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、保護者・生徒の要望が強い「わかりやすい授業」については、更に研鑽を積みきめ細かい、わかりやすい学習指導を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、さまざまな工夫をして充実させる必要がある。教員研修、教員の資質向上については、何か抜本的な改革が必要な時期に来ているのかも知れない。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校をめざす。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

V 資料①

令和4年度 保護者対象 学校自己評価アンケート結果

A : そう思う B : ややそう思う
C : あまりそう思わない D : そう思わない

I 高校生活全般に関する項目

設問	評価				
	A	B	C	D	不明
1 生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる。	30%	51%	14%	4%	1%
2 生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている。	48%	41%	9%	1%	1%
3 生徒は学園祭文化の部・体育の部、校外研修・コース別宿泊研修などの学校行事に積極的に参加している。	61%	33%	5%	1%	0%
4 学校はコース制などの独自の教育活動に取り組んでいる。	51%	41%	6%	1%	1%
5 生徒に命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	26%	49%	18%	3%	4%
6 学校は生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	24%	46%	24%	2%	4%
7 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	44%	44%	9%	1%	2%
8 部活動は活発である。	45%	41%	7%	3%	4%
9 保護者会活動は活発である。	15%	47%	24%	6%	8%
10 生徒に関する個人情報を守られている。	43%	45%	8%	0%	4%

II 生徒指導に関する項目

11 学校の生徒指導の方針に理解・共感できる。	26%	48%	16%	7%	3%
12 学校はいじめ等の問題行動が起こりにくい環境を整えている。	18%	49%	20%	6%	7%
13 生徒の携帯電話の所持・使用に関して、学校の指導方針に理解・共感できる。	35%	50%	10%	4%	1%
14 学校は生徒指導面での連絡や、保護者との意思の疎通をきめ細かく行っている。	25%	46%	19%	5%	5%

III 学習指導に関する項目

15 学校ホームページに掲載されている年間指導計画（シラバス）を見ている。	18%	29%	26%	21%	6%
16 内容がわかりやすい充実した授業が多い。	9%	50%	25%	6%	10%
17 生徒が興味・関心を持って取り組めるように、工夫している教員が多い。	10%	46%	26%	7%	11%
18 テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	30%	54%	11%	1%	4%
19 授業・講座等で、進路志望達成に必要な学力を身につけることが出来ている。	13%	47%	26%	8%	6%
20 各コースにおける専門教科の授業内容は充実している。	22%	52%	15%	4%	7%
21 学校は検定・資格取得に向けての指導に熱心である。	20%	42%	26%	6%	6%

IV 進路指導に関する項目

22 学校は進路に関する連絡や情報提供を十分にしている。	16%	50%	25%	4%	5%
23 学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗ってくれる。	19%	49%	18%	4%	10%
24 生徒対象の進路指導部による進路説明会は、生徒の進路決定に役立っている。	13%	47%	21%	4%	15%
25 クラス懇談会や進路説明会は、大変参考になる。	22%	50%	14%	5%	9%

V 施設・設備及び環境・衛生に関する項目

26 学校の施設・備品は、学習環境の面においてほぼ満足出来るものである。	19%	47%	23%	6%	5%
27 教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている。	21%	50%	18%	5%	6%
28 学校は清掃が行き届いていて、清潔である。	25%	53%	15%	5%	2%

VI その他の項目

29 電話の対応や来校時における教員・事務員の接し方は丁寧かつ適切である。	46%	43%	8%	2%	1%
30 学校のホームページは充実しており、よく閲覧している。	18%	30%	29%	16%	7%
31 食堂は生徒にとって利用しやすく、充実している。	7%	30%	29%	21%	13%
32 緊急時における学校と保護者の連携体制が構築されている。	22%	42%	21%	5%	10%
33 学校が発行している新聞「華」や配布される各種プリント類は必ず読んでいる。	29%	33%	21%	13%	4%
34 精華高校の社会における評判は良い。	8%	36%	37%	10%	9%
35 子どもを精華高校に入学させて良かったと思える。	39%	45%	8%	5%	3%

V－資料②

令和4年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価			
1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育をおこなう。 2 生徒指導の充実と共に、基本的生活習慣の確立、全校的にマナーの向上をめざす。 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。 4 各コースの教育内容の充実をめざす。特に新コースにおいては、各コースの特徴を強く打ち出す。 5 特進選抜・特進総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。			
中期目標（到達目標として）			
PLAN（重点目標）	DO（具体的取り組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。	教員の授業に対する意識を高める。工夫されたわかりやすい授業を実践する。研究授業を充実させ、授業公開を増やす。 本校教務内規成績評価における、注意点30点を35点に上げ、生徒の授業に対する意識を高めると共に、成績に対する生徒の危機感を高めるように指導する。 <u>学校自己評価「授業公開状況」「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。</u>	コロナ禍の中で制限された教育活動であった。昨年同様、対面授業が出来ることの有り難さが、教員・生徒共に強く認識されている。 生徒の授業への取り組みにはばらつきがある。授業中に寝てしまう生徒もいるのが現状である。教員は様々な工夫をして、授業に臨んでいる。 保護者の「工夫されたわかりやすい授業」への期待は、例年同様非常に高い。 教員の自身の授業に対する評価と、保護者・生徒の意識にはギャップがある。 注意点30点を35点に上げ、生徒の授業に対する意識を高めることには、一定効果があった。 特別懇談を実施した。 授業公開は制限せざるを得なかった。	全館 ICT 化に伴う ICT 環境の整備、また、1・2年生がタブレットを持つことに伴い、各教科の授業の内容が充実していくと共に、生徒の授業に対する取り組みもより積極的になることが期待される。 教員は「工夫されたわかりやすい授業」に向け、様々な取り組みを行って行く。 コロナの状況次第で、積極的に授業公開を行っていきたい。 特別懇談を引き続き実施する。 また、次年度は教員の授業評価を行う。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。	部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を更に行い、広報活動を強化する。 オープンスクールの参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学生増加を図る。 吹奏楽部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献する。 <u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	特別強化クラブである吹奏楽部は、吹奏楽連盟主催の大阪府吹奏楽コンクールに出場し、金賞を獲得した。残念ながら、関西大会出場は逃した。 コロナ禍の中ではあるが、地域のイベントは復活しつつある。吹奏楽部はそれらに積極的に参加し、評価を得ている。 強化クラブに、新たに女子バスケットボール部を加えた。 強化クラブである硬式野球部・演劇部は部員数を増やし、それぞれに活動を活発化させている。卓球部は近畿大会出場を果たした。また、なぎなた部は全国大会に出場をした。 女子ダンス部も実力を付けてきている。 本校の部活動は、大変活発である。	新コースであるスポーツ&アートコースは、強化クラブの部員のみで構成されるコースである。 このコースを中心に、ますます部活動の盛んな精華高校をめざす。 部員が増えているサッカー部・硬式野球部においては、対外試合の実績向上をめざす。 他の部活動においても、活動の充実・発展に努める。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
3 NS コース 高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。 落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。 各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。 いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、早朝学習（漢検ドリル）を実施する。 教員間の連携を密にする。 コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携は一定行えた（家庭状況により難しい場合もある）が、欠席・遅刻の数はクラスによりバラツキがある。 中学時と比べて、しっかり登校しようとする姿勢が見られる生徒もいた。年度当初に指導を徹底させることが大事である。 高校生になって勉強を頑張るようになった生徒も少なくないが、落ち着いて授業に参加できない生徒もいる。 新コース1年目なので、基礎力を付けさせる授業展開を行った。 着実に力を付けている生徒もいる。 コロナ禍の中、コース朝礼は限られた数しか実施できなかった。	基本的な生活習慣の確立をしっかりと行うために、コース教員だけではなく教員間の連携（各教科担当者との連携も含む）を密にし、学校全体で強力な指導体制を構築する。 朝学や基礎力の養成を、年度当初から積極的に行う。 引き続き、落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。 各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。 いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
4 SA コース 高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。 学習・部活動ともに頑張る生徒を育てる。 各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、早朝学習（漢検ドリル）を実施する。 教員間の連携を密にする。コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SA コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	「モノグサ」の導入で、朝から勉強する習慣を身に付けさせることが出来た。 全員がクラブ員なので、崩れる生徒が少なく、大きな生徒指導上の問題はなかった。 学校行事には積極的に参加することが出来た。 コロナ禍の中、コース朝礼は限られた数しか実施できなかった。	学力的に力のある生徒もいるので、その生徒をしっかり伸ばし希望進路先に導きたい。 クラブに特化したコースということで、クラブに行けなくなった生徒の対応が大きな課題である。 また、「SA 実習」時の練習場所（ハード面）の課題もある。これらの課題を解決して行きたい。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
5 i-Tech・IT 総合コース 基本的な生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。 さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。 進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。 情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を取得させ、コースとして達成率 80%以上を確保する。 また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。	i-Tech コース（1 年生）は入学直後に、オリエンテーションを 2 日実施する。 保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。 コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。 希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。 <u>学校自己評価、また保護者等を確認しながら、i-Tech・IT 総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	コース内の教員間の連携や生徒の情報交換については、スムーズに行えたが、不測の事態が起こった際には対応に遅れがあった。 コースと合わず、転学者を出してしまった。 1 年生は遅刻・欠席が少なく身だしなみもよい。挨拶がしっかり出来、敬語も使える。 2 年生は自ら希望して資格を取ろうとしている生徒が多く、積極的に勉強している。 3 年生は情報処理技能検定準 1 級の合格者が多く出た。希望通りの進路実現が出来た生徒が多かった。 全体として検定合格率 100%をめざしたが、達成出来なかった。	コースの特性に鑑み、検定合格率 100%をめざす。そのため苦手意識を持つ生徒の対策を講じる。 IT コース独自の全学年対抗タイピング大会を開く。 保護者との連携を取るために、連絡を密にし信頼を得られるように努める。 1・2 年生の段階で、自分の進路について具体的に考えさせて行く。 教員間の情報交換を、しっかり行う。

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
6 環境福祉コース 高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。 コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につながる。 多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。	1 年生は入学直後に、オリエンテーションを 2 日実施する。 保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を減らすように努める。 希望進路の実現に向けて、生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。 生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、環境福祉コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	早朝学習で「モノグサ」を使用しているが、真面目に取り組んでいる生徒には有意義だが、そうでない生徒もいる。来年度は慎重に検討したい。 コロナ禍の影響で、「高齢者福祉施設」での実習が行えなかった。 「こども園」での実習では交流時間は少ないが少しずつ元に戻りつつある。 「天濃池ビオトープ」は、参加人数が多い分、怠けている生徒が多くて残念だった。	コースの特性に鑑み、「高齢者福祉施設」「こども園」での実習をコロナ禍以前のように復活させ、生徒の成長に繋げる。 コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につながるような教育活動を行う。
7 SG・特進選抜コース 全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。 SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。 特進選抜コース 2 年生は、大学進学を見据えた学習を行い、具体的には英検準 2 級全員合格を目標とする。 特進選抜コース 3 年生は、全員が無遅刻・無欠席で登校することをめざし、クラス全員の希望進路を確定させる。具体的には国公立および関関同立・4 女子大学合格者 4 名以上の実現をめざす。	SG コース（1 年生）は入学直後に、オリエンテーションを 2 日実施する。 放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。 早朝学習・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。 生徒募集対策室・広報を中心に、募集・広報の体制を強化し、SG コース入学生数の増加を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SG・特進選抜コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	放課後・長期休業中の受験指導を充実させるために、自習教室を開設したが、当初はうまく運営出来なかった。2 学期中頃より修正し正常化した。自習の習慣のない生徒が多かったが、徐々に慣れ目標に向けて少しずつステップアップ出来て来ている。 1 年生はオンライン英会話（平日 5 日放課後実施）によりリスニング力・スピーキング力は飛躍的に上昇した。 3 年生は受験講座の出席率は高く、充実していた。 共通テスト受験者 8 名。	全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。 コースの存続をかけて、進学実績を上げる。 目標である国公立および関関同立・4 女子大学合格者を多く出すことをめざす。 また、生徒募集にもコースをあげて取り組む。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
8 スポーツ健康コース 集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。 さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。 特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。	保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。 授業を集中して受ける習慣を身に付けさせる。 教員間の連携を密に行い、コースの生徒のさまざまな情報を共有する環境を構築する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、スポーツ健康コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	2年生においては、生徒の自分勝手な行動が多く、集団行動並びに協調性を十分に身に付けさせることが出来なかった。 学習面では座学授業で学ぶ意識が低かったが、実技授業はしっかり取り組めていて意識が高かった。 3年生は比較的落ち着いた状態で学校生活を送っていた。 保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努めた結果、全体的には少なく抑えられた。 教員間の連携もしっかり取れた。	スポーツ健康コースに所属している生徒は、クラブ員が多く元気で、勉強が苦手であるという特徴がある。 次年度はコース最後の年となるので、コースの特色が生かせるように、様々なことに取り組む。
9 特進総合コース 学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。 将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。 高校生としての自覚をしっかりと持たせ、教養を高めさせる。 主体的に判断し、行動できる力を育む。	2年生は自分の興味や関心を明確にし、将来の職業選択を見据え、何を学ぶか考えさせる。受験に対応する基礎力を養成する。 3年生は受験に対応する実践力を養成する。 進路に対する意識を高め、希望進路の実現を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	年度途中に、3年生担任の不祥事による交代があり、コース全体に混乱と動揺を与えた。 早朝学習は、取り組む時間が少なかったのが反省点である。 コロナ禍の中、全校朝礼を全く行うことが出来ず、コース朝礼も数少なかった。 進路指導については、生徒が自分の進路について考える機会が多く設けられていて良かった。 出席簿の復活を望む声が多い。	早朝学習は、生徒の学力アップのためにしっかり行う。 全校朝礼・コース朝礼を行う必要がある。 進路に対する意識を高め、希望進路の実現を図るために、進路指導を充実させる。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
10 学校施設・設備の充実を図る。 トイレの改装・洋式化に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。 生徒の美化意識を高める。 保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を行う。	昨年に引き続き、新館2Fの女子生徒トイレ・教員トイレを改装し洋式化する。 講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。 食堂の抜本的な改革のために、業者の選定に入る。 <u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」</u> <u>「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」</u> <u>「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u>	新館2Fの女子生徒トイレ・教員トイレを改装し洋式化した。 食堂については具体的に2つの業者と話し合ったが、金額的に学園の持ち出しが多く再検討に至る。 生徒の美化意識を高める取り組みは、不十分であった。	生徒・教職員の美化意識を高める取り組みを積極的に行い、引き続き、清潔・安全な学校をめざす。 食堂については、検討を続ける。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。 SNS 等による情報発信にも取り組んで行く。	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。 新コースに合わせホームページを一新し、情報発信を更に充実させる。 本校の斬新な広報を継続する。 SNS 等による情報発信を行う。 <u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	新コースに合わせホームページを一新した。 本校の斬新な広報は継続出来ている。 SNS 等による情報発信を、不十分ながら行うことが出来た。	各コースに広報担当者を置き、SNS 等による各コース行事の情報発信を、積極的に進める。 本校の斬新な広報は継続する。
12 教育改革会議において、引き続き本校教育の中身を検討すると共に、近い将来立ち上げる 予定のフリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の教育内容を確定し、認可を得る。	全館 ICT 化に伴い、アクティブラーニングを推進する。 Eルーム (ICT 教室) の更なる活用を進める。 新入生一人一人にタブレットを持たせ、新しい教育に挑戦していく。 フリーアカデミーコースの教育内容を確定し、生徒募集の戦略を練る。 <u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u>	フリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の教育内容を確定し、不登校特例校として、文部科学省に申請中である。 また、府私学課との情報共有に努めた。	フリーアカデミーコース準備委員会を立ち上げ、次年度の生徒募集に向け、具体的な教育内容を確定させる。 積極的に広報し、生徒募集に努める。